

黎明館企画特別展「ほこらしゃ奄美」関連イベントの御案内

展示解説講座・講演会

※入場無料／往復ハガキによる事前申込み

時間：午後1時30分～午後3時(午後1時開場)

会場：黎明館 2階 講堂(122席／全席指定)

応募期間：9月1日(水)～9月17日(金)(消印有効)

A 10月9日(土) 展示解説講座

「ほこらしゃ奄美の世界」

小野 恭一

(黎明館学芸課主査)

講演内容 奄美の人々は、自然と共生し、海を越えて交流をしてきました。そして、その文化は、南九州や琉球などの影響を受け複雑な歴史の中で育まれたものです。本講座では、奄美の歴史と文化について、展示資料の背景や資料の魅力を分かりやすく解説し、「ほこらしゃ奄美の世界」に御案内します。



重要文化財 ヤコウガイ貝匙
〔奄美市立奄美博物館蔵〕

B 10月16日(土) 記念講演会Ⅰ

「文化の窓口－奄美－」

新里 亮人 氏

(熊本大学埋蔵文化財調査センター助教)

講演内容 近年、奄美群島の遺跡調査が盛んに進められ、新たな発見が相次いでいます。調査の対象は旧石器時代(3万年前)から近代(明治～戦前)と幅広い年代にわたります。九州と沖縄を結んだ文化の窓口である奄美。これまでの発掘調査や研究成果を解説しながら、個性的な島々の姿を紹介します。

講師略歴 (しんざと あきと) 1977年、沖縄県生まれ。熊本大学大学院社会文化科学研究科修了。博士(文学)。2004年～2019年伊仙町教育委員会学芸員。2019年より現職。著書『琉球国成立前夜の考古学』(同成社、2018年)など。

C 10月23日(土) 記念講演会Ⅱ

「奄美の民俗－その祈りのデザイン－」

町 健次郎 氏

(瀬戸内町立図書館・郷土館学芸員)

講演内容 鹿児島と沖縄の間に位置する奄美群島。当域には伝統的信仰として、かつて琉球王国の影響下にあったことに由来する「ノロ」の祈りの風景がありました。ノロとは村落の農耕儀礼や神の送迎祭などの祭りを主導していた地方女神官です。その祭祀具や空間にみるデザインを基点に奄美の民俗を紹介します。

講師略歴 (まち けんじろう) 1970年、鹿児島県与論町生まれ。琉球大学人文社会科学研究科博士課程修了。博士(学術)。論文「南西諸島の仮面―その造形を中心に―」(『瀬戸内町立図書館・郷土館紀要第9号』、2020年)など。

D 10月30日(土) 記念講演会Ⅲ

「奄美の唄と踊りの系譜」

小川 学夫 氏

(鹿児島純心女子短期大学名誉教授)

講演内容 講師がこれまで奄美の島唄の系譜を探る中で考えてきた、唄のメロディーや歌詞などの変化と、変わらない部分について、具体的な事例を上げて、いくつかの島唄を実際に聞き比べながら紹介します。

講師略歴 (おがわ ひさお) 1940年、北海道生まれ。早稲田大学大学院修士課程文学研究科修了。鹿児島県文化財保護審議委員。著書『奄美民謡誌』(法政大学出版局、1979年)、『奄美シマウタへの招待』(春苑堂出版、1999年)など。

※ これらのお申し込み方法については、裏面をご覧ください。

TEL 099-222-5396(学芸課)
〒892-0853 鹿児島市城山町7-2
鹿児島県歴史・美術センター 黎明館